

5連覇を睨む郡司浩平

川崎競輪場開設75周年記念「桜花賞・海老澤清杯」は、4月4日〜7日の日程で開催される。今シリーズは古性優作をはじめSS班5名が参戦する超豪華メンバーながら、最も注目を集めるのは、大会5連覇に邁進する郡司浩平だろう。連係実績が豊富な北井佑季とのタッグで地元ファンの期待に応えるのか、それとも待ったをかける選手が現れるのか。興味津々の4日間だ。

昨年は5年連続となるグランプリ出場を果たせず、SS班を明け渡した郡司浩平ながら、今年は年頭から快調なペースで飛ばしている。初戦の1月岸和田で3連勝すると、その後は同月当所記念、全日本選抜、3月平塚で優勝をゲット。真っ先にグランプリの出場権を手中に修めていて、優勝回数も早々と昨年の4に並んだ。ホームバンクの当所では素晴らしい実績を残して、21年に全日本選抜を制覇、記念開催は目下のところ4連覇中。今シリーズはSS班5名が相手なので、一筋縄ではいきそうにないが、5連覇の偉業を達成するとみて中心視した。郡司とタッグを組むのは北井佑季だ。輪界でも屈指の先行力は更に凄みを増した印象で、全日本

郡司浩平



選抜①①③着、3月松山記念②③②着など、G戦線で猛威を振るっている。全日本選抜の二次予選では、取島雄の逃げを上がり11秒フラの超速まくりで仕留め、郡司の追撃を振り切った。好位置占めてのまくりなら押し切ってもおかしくない。南関勢では岩本俊介も素晴らしい動きを披露している。3月京王閣、同月伊東G3を連続完全優勝と、持ち味の自力攻撃は快調そのもの。南関勢がレースを支配なら連に浮上してきそうだ。

もちろん、昨年はG1で3Vの金字塔を打ち立てた古性優作を重視する手もある。1月和歌山記念、松山記念で優勝をものにし、ウィナーズカップも②③②

②着。松山の決勝は、北井の番手を和田真からあつさり奪い取ったの差し切り勝ち。ウィナーズカップの決勝も近畿のアシスト役に徹して脇本雄のVに貢献して、輪界を代表するオールラウンダーの真骨頂を遺憾なく発揮した。目標不在なら自在戦、全日本選抜の二次予選でワンツィーを決めた寺崎浩平との連係が叶えば前を任せよう。

浅井康太が追加参戦してくる



古性優作



浅井康太

のも楽しみ。同じく追加あつせんだった2月高松記念では番手まくりの松浦悠の後位を取り切った逆転のV。その後も3月四日市、同月高知を制して3連覇中だ。自分で自力自在にやっても今の勢いなら有力なV候補だが、ここは連係実績豊富な山口拳矢に付けてのレースだろう。山口は玉野記念①①③着の動きは良化を感じさせた。中部コンビで上位独占も十分。

昨年はG1で2冠に輝いた眞杉匠。全日本選抜から復帰後は着実に調子を上げてきた。ウィナーズカップでは初日特選を逃げて3着に粘ると、毘沙門天賞は単騎ながら古性、脇本、松浦ら並みいる強豪を撃破した。ただ、その後の落車の怪我はどうか。うまくレースの流れに乗れると怖い。

新山響平、佐藤慎太郎の北日本SSコンビは、今年は両者ともに一息不足の印象だ。新山は積極的に駆けているものの、やや末脚が物足りないし、佐藤は差し脚の切れが今ひとつだ。スピード光る嘉永泰斗も一発の魅力を秘めている。

桜花賞・海老澤清杯 出場予定選手

※2024年03月26日現在のデータです。

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78 期	113.65	S1	畑段嵐士	京都	105 期	104.03	S2	松崎貴久	富山	82 期	94.83	S2	田中勇二	岡山	95 期	103.22	S2	嶋田誠也	福岡	109 期	105.19
SS	古性優作	大阪	100 期	118.72	S1	取島雄吾	岡山	107 期	110.58	S2	白岩大助	埼玉	84 期	98.74	S2	佐藤博紀	岩手	96 期	101.93	S2	川口雄太	徳島	111 期	100.73
SS	新山響平	青森	107 期	113.33	S1	林大悟	福岡	109 期	107.58	S2	荒澤貴史	北海道	85 期	96.90	S2	山形一気	徳島	熊本	104.57	S2	河合佑弥	東京	113 期	99.05
SS	眞杉匠	栃木	113 期	116.00	S1	露澤鴻太郎	群馬	111 期	101.46	S2	大槻寛徳	宮城	85 期	108.13	S2	塚本大樹	熊本	熊本	103.64	S2	中嶋宣成	長野	113 期	100.76
SS	山口拳矢	岐阜	117 期	113.61	S1	松本貴治	愛媛	111 期	109.93	S2	渡辺十夢	福井	85 期	103.45	S2	太田剛司	愛知	97 期	92.46	S2	小原文一郎	青森	115 期	102.32
S1	室井健一	徳島	69 期	100.21	S1	金ヶ江勇気	佐賀	111 期	100.94	S2	三宅裕武	三重	88 期	96.63	S2	佐方良行	熊本	97 期	100.63	S2	武田亮	東京	115 期	99.90
S1	大塚健一郎	大分	82 期	108.80	S1	嘉永泰斗	熊本	113 期	112.95	S2	高橋陽介	青森	89 期	100.52	S2	山口翼	茨城	98 期	98.49	S2	藤井侑吾	愛知	115 期	109.00
S1	大森慶一	北海道	88 期	104.00	S1	寺崎浩平	福井	117 期	113.64	S2	丸山貴秀	秋田	89 期	97.82	S2	吉田茂生	岐阜	98 期	94.88	S2	高田修汰	福井	115 期	95.06
S1	河野通孝	茨城	88 期	107.96	S1	青野将大	神奈川	117 期	108.17	S2	鰐淵圭佑	群馬	90 期	97.32	S2	松田大	富山	98 期	92.56	S2	宮崎大空	熊本	115 期	98.58
S1	菊地圭尚	北海道	89 期	102.96	S1	佐々木真也	神奈川	117 期	104.67	S2	志村太賀	山梨	90 期	101.69	S2	石川裕二	茨城	99 期	101.07	S2	鈴木陸来	静岡	117 期	99.79
S1	内藤秀久	神奈川	89 期	107.19	S1	伊藤旭	熊本	117 期	108.82	S2	池田憲昭	香川	90 期	92.90	S2	須藤悟	千葉	99 期	95.38	S2	仲野結音	大阪	117 期	101.33
S1	飯野祐太	福島	90 期	103.47	S1	橋本壮史	茨城	119 期	103.42	S2	坂本亮馬	福岡	90 期	100.20	S2	徳永哲人	熊本	100 期	101.03	S2	久田裕也	徳島	117 期	103.94
S1	芦澤大輔	茨城	90 期	105.92	S1	北井佑季	神奈川	119 期	115.06	S2	坂本匡洋	大阪	91 期	93.29	S2	土屋壮登	埼玉	101 期	93.30	S2	青柳靖起	佐賀	117 期	101.85
S1	松岡貴久	熊本	90 期	108.68	S1	志田龍星	岐阜	119 期	109.10	S2	網谷竜次	香川	91 期	98.39	S2	山本直	岡山	101 期	99.47	S2	鈴木浩太	千葉	119 期	100.04
S1	浅井康太	三重	90 期	113.92	S2	伊藤正樹	愛知	71 期	100.09	S2	桑原亮	福岡	91 期	96.09	S2	大西貴晃	大分	101 期	96.33	S2	福元啓太	大阪	119 期	93.81
S1	木暮安由	群馬	92 期	105.50	S2	白戸淳太郎	神奈川	74 期	99.52	S2	山田義彦	埼玉	92 期	100.29	S2	和田誠寿	広島	103 期	91.43	S2	田川翔琉	熊本	119 期	93.00
S1	山田久徳	京都	93 期	109.06	S2	成田健児	神奈川	75 期	97.82	S2	戸田洋平	岡山	92 期	100.04	S2	高木翔	岩手	105 期	94.36	S2	邊見光輝	福島	119 期	92.95
S1	岩本俊介	千葉	94 期	111.76	S2	山内卓也	愛知	77 期	100.66	S2	真船圭一郎	福島	94 期	97.46	S2	尾形鉄馬	宮城	107 期	102.37	S2	大川剛	青森	121 期	104.00
S1	小原太樹	神奈川	95 期	108.83	S2	八谷誠賢	福岡	77 期	95.65	S2	相川永伍	埼玉	95 期	98.68	S2	築田一輝	静岡	107 期	106.05	S2	日高裕太	静岡	121 期	98.29
S1	東龍之介	神奈川	96 期	105.35	S2	佐藤真一	東京	79 期	98.74	S2	武藤篤弘	埼玉	95 期	102.86	S2	滝本泰行	岡山	107 期	94.86	S2	小西晴己	三重	121 期	97.08
S1	郡司浩平	神奈川	99 期	116.55	S2	前反祐一郎	広島	81 期	94.77	S2	山中秀将	千葉	95 期	93.53	S2	小林令	山梨	109 期	101.21					
S1	岡田泰地	栃木	100 期	100.59	S2	松坂英司	神奈川	82 期	96.60	S2	村上直久	神奈川	95 期	96.88	S2	酒井拳蔵	大阪	109 期	97.33					

築田 一輝 (静岡/107期)

F1戦での成績はやや物足りないが、Gレースでは好走が目につく。1月当所記念では予選を1②着で準決にコマを進めると、2月静岡記念は2②⑦①着と3連対を果たした。一発の魅力を秘める。



伊藤 旭 (熊本/117期)

1月平記念では準決で2着と気を吐くと、2月松山では今年の初Vを飾っている。好位確保してのまくりが主武器ながら、最近は最終バックを先制する競走が多い。混戦模様のレースは要注意。



山形 一気(徳島/96期)

3月前橋では1①②着とオール連対の準V。決勝は最終バック6番手の厳しい展開となったが、的確なコース選択から鋭く伸びた。連日いい伸びを披露していたので、突っ込みには警戒したい。



地元地区推奨選手

俺の出番だ!!

青野 将大

(神奈川/117期)

去年は4Vを達成すると、今年は初戦の1月伊東でいきなりVをゲット。新田祐を撃破する金星をあげた。自力攻撃に一段と磨きがかかった感があり、ホームバンクの記念で躍動するか。



内藤 秀久

(神奈川/89期)

手厚い援護には定評があるガッツ
 マーカー。今年は一息不足の場所が続い
 ていて、3月立川では準決で落車のアク
 シデントに見舞われた。地元勢がそろっ
 たここで結果を出し、流れを変えたい。



車券の購入は20歳になってから。
競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、
機械工業の振興や社会福祉等に
役立てられています。



桜花賞・海老澤清杯 出場予定選手

※2024年03月26日時点

[illegible]